

各位

三井住友信託銀行株式会社

相続サービス迅速化によるお客さまサービス向上のための実証実験開始について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝、以下「当社」)は、お客さまに新たな付加価値をご提供できる、信託ビジネスのプラットフォーム構築をめざして様々な検討を行っています。今般、新たなサービス開発の一環として、お客さまからのご要望も多い相続発生後における名義のご変更等の手続き短縮化のため、デジタル技術(ブロックチェーン)を活用した、相続プラットフォーム構築の実証実験を開始しましたので、お知らせいたします。

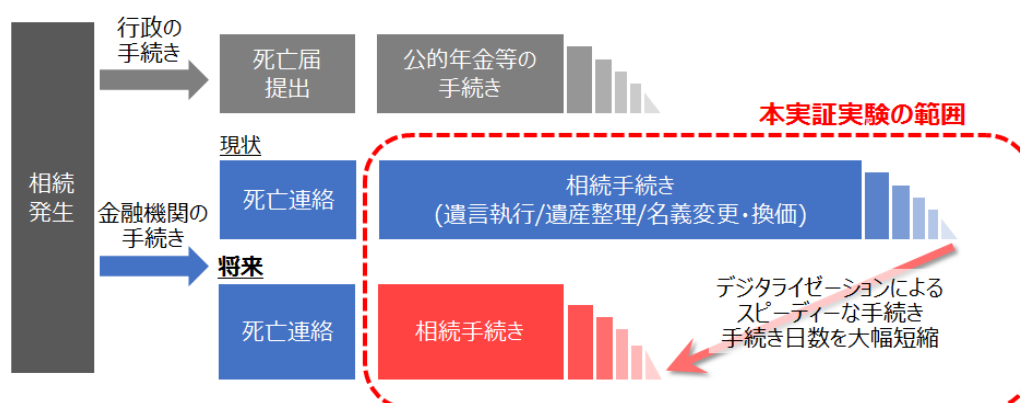
1. 実証実験の目的・概要

ご相続発生後、個人が金融機関にお預けされていた預金や有価証券については、名義変更や換金手続き(以下、「相続手続き」と総称)が行われますが、手続きには戸籍謄本や印鑑証明書をはじめとする複数の書類が必要となるため、お客さま・金融機関ともに手続きが複雑になっており、郵送の期間を含めると、数カ月かかるケースも散見されます。人生 100 年時代の本格到来に伴い、数百万世帯で相続手続きが発生する「大相続時代」におけるお客さまの負担軽減、相続手続きの迅速化は、今後、社会的課題になると思われます。

かかる中、当社は本邦唯一の専門信託銀行として、多くのお客さまの相続のご相談に預かってきたノウハウと専門性を活かし、すべてのお客さまに安心・安全、かつ、迅速な相続サービスの提供を目指して、新たな相続プラットフォーム(以下、「本プラットフォーム」)の構築に向けた実証実験を開始しました。

本実証実験では、必要書類のデジタル化・共有化を通じた相続手続き時間の大幅短縮が可能となるほか、ご安心してお手続きいただけるよう、改ざん困難、かつ、透明性を確保できるブロックチェーン技術を採用し、遺言執行業務を本実証実験の対象として試験的に一連の手続きのデジタル化・迅速化を検証します。

【実証実験の範囲】



遺言執行:信託銀行が遺言の執行者となり、被相続人さまが決めた財産配分に従い、資産を相続人さまに分配すること

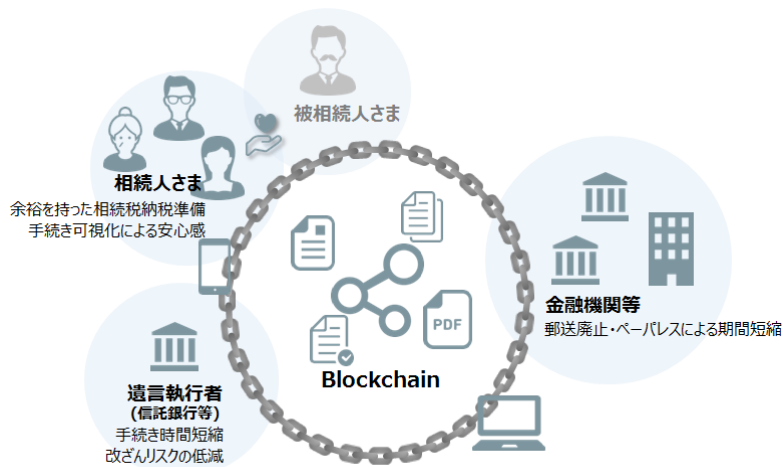
遺産整理:信託銀行が相続人さまの代理人として法定相続人調査や各金融機関の財産調査、名義変更手続き等を行い、相続人さまに相続資金を振り込むこと

名義変更・換価:相続人さまが、ご自身で相続手続きをされること

2. 本プラットフォームが目指す将来像

本プラットフォームを活用することにより、書類と手作業による業務プロセスをデジタル化し、例えば、金融機関同士が手続きに必要な情報をブロックチェーン技術を通じて安心・安全に共有することにより、迅速な処理を実現し、また、お客さまの必要に応じて、処理の進み具合をご確認いただける等、お客さまをはじめ、相続手続きに関わるすべての関係者にとって、シンプルでスピーディーなお手続きを実現するプラットフォームの構築を目指していきます。

【イメージ】



三井住友信託銀行は、「人生 100 年時代」の到来等により多様化する、法人・個人のお客さまのニーズに対し、グループ内に有する多様な機能を最大限に活用し、お客さまに安心と安全、更には人生の豊かさを提供する「信託ならではの」商品・サービス開発を通じて、お客さまに提供する付加価値の向上を目指していきます。

以上